

会 議 録

1 会議名

令和3年度第2回上越休日・夜間診療所運営委員会会議

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和3年度の診療所状況等について（公開）
- (2) 令和4年度事業概要について（非公開）
- (3) その他（非公開）

3 開催日時

令和4年2月25日（金）（書面開催）

4 開催場所

—

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

上越市審議会等の会議の公開に関する条例第7条第1項第4号「意思形成過程事項」に該当するため

7 出席した者 氏名（敬称略）

- ・委員 高橋慶一、揚石義夫、林三樹夫、藤田亘浩、長谷川正樹、入江誠治、
籠島充、古賀昭夫、小出智子、山崎理、笹川英治、佐藤妙子、山岸麗

8 審査の内容

- (1) 令和3年度の診療所状況等について（公開）

【高橋委員】

R2のインフル患者が0であるのは、現実にインフル患者が少ないことの反映ではあるが、診療所で発熱患者のインフル/コロナの検査をしない方針により、発熱患者が来院しないことも大きく影響していると思われる。このことは、患者総数も大きく減少していることにもみられる。

（回答）

インフルエンザ等の検査体制については、昨秋から運営委員の皆様や執務する医師、薬剤師、看護師、事務員の皆様のご意見をいただきながら検討しており、スタッフの皆様の理解を得られる時期、方法等による再開を目指していきたいと考えております。

なお、令和3年度の患者数は、令和4年2月末時点で前年比で213人増となっているものの、令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症が本格的な拡大前の令和元年度以前との比較は、大幅に減少しております。

【山崎委員】

令和2年1月以降の患者総数の減は、上越保健所調べの救急患者数調査（救急搬送、自主来院）における病院での救急患者数の減とも傾向がほぼ一致し、全体として新型コロナウイルス感染症の流行による影響、さらに令和3年1月から3月にかけては豪雪による影響も大きいと考えられる。

（回答）

ご見解のとおり、新型コロナウイルス感染症や冬季の豪雪の影響により、患者数が減少したものと考えられます。

【山岸委員】

R2年度、R3年度の状況について、大きな差はないと感じました。コロナ禍における診療所のかかり方、受け入れ方が、ほぼ定着しているのだと思います。コロナウイルス感染の受診方法が変わらない限りこの状況が続くのかと思いましたが、受診される方がおられるので、必要な医療支援だという気持ちもあります。

（回答）

休日や夜間においても安心して医療が受けられる体制を確保するとともに、二次救急病院と連携し、今後も地域における救急医療体制を維持するためにも、一次救急医療機関として、運営していくことが必要であると考えております。

(2) 令和4年度事業概要について（非公開）

(3) その他（非公開）

9 問い合わせ先

福祉部 地域医療推進室 TEL 025-520-5699

E-mail:chiikiiryousu@city.joetsu.lg.jp